



AA日本ニュースレター

AA 日本ゼネラル・サービス・ミーティング・文書委員会
TEL03-3590-5377 171 東京都豊島区池袋 2-23-3 橘ビル 9F

100-91
東京都中央郵便局
私書箱 916

No. 36

第4回日本ゼネラルサービスミーティング

『報告の概要』

日本ゼネラルサービスミーティングも開催するたびに内容が充実し、今回も有意義な分かち合いとなった。ミーティングの詳しい内容は、来春の一月に『報告書』にまとめ、全国のグループに配布される予定なので、ここではその報告書を手にするまでの案内として概要をお伝えしたい。

はじめに 第1回のゼネラルサービスミーティングに向けて、全国7地域の「グループの良心」によって選出された第一期の評議員も、AAのフェロシップのなかの、「しもべ」としての役割を果たし、昨年に引き続いて今年でほぼ全員が退任する。サービスで大切なのは次の「しもべ」と経験を分かち合うことにある。そこでその精神を生かすため今回から「報告書」の中に“退任する評議員からのメッセージ”と題して、役割を終えるに当たったの評議員の経験の報告が掲載されることになった。

その内容をメンバーの一人一人に読んでいただき、評議員を選出する大切さや役割についての意義が深まることを願っている。

プログラムの本題に入ろう。

まず、最初のプログラムである。ランチパーティミーティングの印象から伝えたい。

第4回目の開会は健康的な緊張感（今回新任した評議員）とリラックス（退任する評議員）した雰囲気であった。すべての評議員が一言スピーチをリレー方式（司会者が提案した方法で、次の人に話してもらおうときにレイを首にかけてバトンタッチする）で話す中で、私個人が印象に残った評議員の話の一部だがここで紹介したい。

「評議員として3年の任期を務めることができた。この3年間の経験で学んだことは、サービスとはいろいろな人の意見を聞き、自分の考えに当てはめていくことだった。それまでの自分は、自分の意見が受け入れられないとサービス活動に意欲を失い、つい投げ出したい衝動が先に立つことが多かった。しかし、3年間の経験を通じて知り得たことは他の人の意見にも耳を傾け、たとえ自分の意見が受け入れ

られなかったとしても感情をしずめ辛抱することがどれだけ大切であるかを学んだ。なぜなら、AAという『一緒にやる』ということは、いろいろな考え方を受け入れ、サービスにとって一番よいことを選択することにあるからである。どんな話し合いの場であっても、AAの一体性が保たれ、グループの良心が反映されるとき、そこに存在する事実は自分にとってもAAにとっても良いことであることを私は確信したからである…」

このような評議員一人一人の熱意がこもったスピーチが終わり、最後に司会者が今日からの3日間を全員が満足して帰りましょう 満足 という文字を書いた扇子を広げて、全員の拍手喝采の中でパーティが終了しプログラムに入った。

「実施状況報告」では

献金フォーラム実施報告について
実施地域評議員による報告があった。
地域評議員分担金改定について
改定に伴う諸問題の報告があった。
出版基金の状況について
状況報告と監査報告があった。
WSM派遣費用の特別献金について
目標額達成の報告と帰国後の報告会についての
実施概要が報告された。

「アンケートによるディスカッション」では

評議員からのレポートによる諸問題
事務局が提起した問題
セントラルオフィスが提起した問題
当日の会場からの問題などについて討論がされた。

「AA20周年記念集会」では

実施のための委員会編成について
開催月について
開催日程・期間について
会場規模について
テーマ決定の手順について
ポスター作成の手順について

などが主議題として話し合わせ、委員長が決定された。

委員会編成についても全国レベルの編成を事務局が提案し、動議を加えれば賛同を得た。

開催会場の規模については、各地域の評議員ごとに集まり緊急会議を行い、予想される地域別の参加者数を確認しあって、2,000人規模の会場を確保することを予定とした。

その他の議題は、事務局が草案し、次回のGSMで検討することとなった。

記念誌『日本AA20年の歩み』について

20年誌発行に当たって、各地域の担当者を中心に、地域内の各グループ誕生の歴史やサービス構成の発展の推移を来年末までにまとめる。

JSOでは、特に日本のAAの誕生当時の資料を収集する。

「JSOの活動報告と今後の計画」では

1992年度の事業計画と予算についての報告による討議

1993年度の事業計画の重点項目と予算編成についての討議

JSO法人化構想についての討議など熱心な討論が行われた。

「セントラルオフィスと地域サービス」では

オフィス職員からの問題提起による討議

昨年度のGSM以降の顕著な動向についてなどを分かち合った。

「12&12の改訂について」では

グループ代議員に送付したアンケート結果を基に討議。

この議題は参加したメンバー全員に関心が強く、熱心な討論の結果、翻訳準備を開始するまでとし、結論は翻訳終了時まで持ち越すこととなった。

「分科会報告と採択」では

〔方針では〕

WSM評議員選出方法の変更について

GSMで選出することとした。

立候補資格をサービスマニュアルで示されているものだけとし、他の条件は設けないこととした。立候補には評議員2名の推薦を必要とすることとした。

選出方法の変更については、評議員が各地域の代議員に十分な説明と理解をってもらう努力をすることが同意された。

アペール権が出されたときの対応について分かち合った。

常任理事会の設置に向けての分かち合いを行った。

GSMの東京外での開催について確認し合った。

〔財務では〕

出版基金のお願いを目標額が達成されなくても、今年12月いっぱい打ち切ることにした。

JSOの運営と献金状況のバランスについて分かち合った

支援システムをどのように広めて行くかを話し合った。

献金を辞退する外部とは、について分かち合った。

〔広報では〕

マスメディアにメッセージを運ぶための分かち合いを行った。

地域の社会資源の有効活用についての情報交換を行った。

AAのポスター作成についての意見交換を行った。

AA以外の団体と催し物を共催するときの問題点について分かち合った。

〔文書では〕

B0X916の頒布価格を200円から250円に変更することを採択した。

評議員会承認出版物を活用するための方法として、グループのミーティング場にJSOが示す種類の書籍1セットを定価の4割引で頒布し、グループ販売見本として提供するシステムが採択された。

各地域の図書館にAAの本を寄贈する活動についての分かち合いを行った。

B0916、ニューズレターの著作権はJSO出版局にあることを採択した。

〔ネットワークでは〕

地域評議員の地域割についての再検討について分かち合った。

全国のサービス体系についての議題(選挙マニュアルや委員会の呼称等)を次回のテーマにすることが確認された。

〔専門家協力では〕

各地域のパブリックミーティング開催のときの留意点やAA以外の会合でAAメンバーがスピーチする場合の留意点などが話され、次回のテーマとすることが確認された。

以上、余りにも簡単な項目だけの報告で、読後に十分な感触が得られないと感じるが、各項目について討議内容を詳しく掲載した『報告書』を是非ともお読みいただき、このゼネラルサービスミーティングのもつ意義や、目指すところについて深い理解をいただくことをお願いし、結びとしたい。

GSM事務局 今井



伝統の範囲内での広報活動

- GSO発行の広報ワークブックから抜粋 -

現役のアルコールクが助かりたいと望んだとき、そしてそのときAAがそこに在り、助けの手を差し伸べることができたとき、AAのプログラムは効果を示す。しかしその人がそうなるまでの背景には、上司や、医師、関係機関、施設や身内の人など、ともかくAAの事を知っている人達やAAへの接触の仕方を知っている人達からかなりの手助けを受けていたことと思う。

最初のころからAAはその「愛の手」があることを知らせ続けること、その用意をすることについては、良好な広報関係を頼みとしてきている。ここにAAの伝統のなかでAAについてお知らせをする活動を通して、関係機関の方々に引き続きわたしたちと共に活動していただけるよう、広報ワークブックからの抜粋を示した。

.....

AAの集まりの導きとなる原理は12の伝統に表されている。伝統を守る責任は、AAの中だけにあり、AAメンバーがまず伝統をよく理解し、外部の人達にきちんと説明できなければ、伝統についての理解を求めたり、伝統を守るための協力を求めることはできない。マスメディアから熱心なアプローチを受ける場合も多いが、メディアがAAの伝統を知らないために、不本意にも、結果的にAAメンバーにとって問題となることもある。わたしたちは経験から、メディアに対して伝統を説明することがどれほど重要かを学んでいる伝統とはあくまでAAメンバーのものであり、伝統はメディアのものではないからである。

伝統6：「AAはいかなる関係ある施設にも、外部の企業に対しても、保証や融資やAAの名前を貸すことをしてはならない。金銭や所有権や名声の問題が、われわれの大事な目的からそれさせる恐れがあるからである。」

アルコールリズムは今日ではいろいろな分野から多くの関心を集めている。AAのプログラムについて熱心に語ってくださる関係者も、AAグループやAAの各委員会と協力してくださる方々も数多い。ではこれらの機関のプログラムのなかにAAはどの程度まで関わるべきなのだろうか。

非常にシンプルな指針となる原理が経験によって与えられている。つまり、わたしたちは協力するが、従属はしない。わたしたちはアルコールリズム関連の他の機関と共に活動できることを強く望んでいるが、公の立場で、外部の機関に併合されることは望まない。もしAAが別の機関と公の立場の中で結び付けられた場



合、従属関係にあるような印象を与えるからである。けれどもAAは、他の機関にとっての資源として、常に援助と協力に応じられる心構えであることを明確に伝えて行けるよう留意していこう。

伝統8：「AAはどこまでも非職業的でなければならない。しかし、サービス・センターのようなところでは専従の職員をおくことができる。」

わたしたちは自分たちが一番よく知っていることを着実にやっていく。その一番知っていることとは、個人の回復であり、メッセージ活動(12番目のステップ)である。わたしたちは、アルコールリズムを何から何まで熟知しているオーソリティではない。わたしたちは回復のプログラムを分かち合っているが、専門家ではない。アルコールリズムについての公けな定義もたない。わたしたちはこの病気の被害者ではあるが、その病気の原因や治療法について深い見識があるわけではない。

伝統11：「われわれの広報活動は宣伝により促進することよりも、ひきつける魅力に基づく。新聞・電波・映画の分野で、われわれはいつも個人名を伏せるべきである。」

AAは秘密結社ではない。わたしたちは相手をえり好みせずメッセージを運んでいる。まだ苦しんでいるアルコールクがAAメンバーと出会う機会が全く無かったとしたら、その人は一体どうやってAAを見つけ出せばよいのだろうか。しかしながら、公(マスコミ)のレベルで個人名を伏せる必要性については、きちんと認識している。わたしたちはAAという集合体全体の正確な全体図をメディアに対して与えてゆかなければならない。

.....

以上はワークブックからの一部の抜粋ですが、各地域の広報活動の一助になることを望んでいます。

第12回ワールドサービスミーティング

1992年10月25日～29日

← ニューヨーク



全国各地のメンバー、グループの皆様のご支援をいただき、ワールドサービスミーティング(以下WSM)評議員2名、いよいよニューヨークに出発します。もっとも、このニューズレターが発行されるころには、ちょうどその幕が閉められたところで、ほっとしているころだと思います。

「サービス、それは全員の特権」というメイン・テーマのもとで開催される今回のWSMには、サービス構成や全国レベルのオフィス、出版機能を持つ24カ国のAAから、それぞれの国で選出を受けた39名の評議員が参加し、言語、住む国を問わずまだ苦しんでいるもっと多くのアルコールクにAAの回復のメッセージを確実に運ぶため、意見交換やそれぞれの国での経験を分かち合います。

具体的には、「わたしの責任」、献金、12の伝統、12の概念、サービス等について、全体会議や分科会、ワークショップと会場を移しながら、話し合いを重ねます。

今回はわたし自身、ミュンヘンに続いて2回目の出席のため、最初のときのような、一体どういうことが行われるのだらうという不安感はないのですが、それぞれのお国訛りの英語の聞き取りがいかに難しいかを

ミュンヘンで骨身に染みいるほど感じ取ってきたため、実は今は英語に対する恐怖心が一杯で、もうたまらない気持ちで、逃げられるものなら逃げ出したいという心境なのです。アメリカ人だってよその国の人と話す英語を聞き取るのは難しいし、日本人だって方言が解らないことだってあるでしょ、と英語のグループのメンバーが慰めてくれるのですが、あまりの力不足に絶望的になっているところです。多分また今回も、一つの会議が終わるたびにそれぞれの人に、話された内容を確認するため、飛び回ることになるでしょう。

けれども、たとえそうであっても、ヨーロッパやポランドやアフリカやオーストラリアのAAの話を通じて直接聞けるチャンスというのは、一生のうちでもそうたびたびあるとは思えませんので、一方では、非常に胸躍る期待感もあふれてきています。

恐怖感と緊張感と、そしてそれにも増す期待感とともに、ともかくやってみようと思います。「日本にもAAがあるなんて。日本にもアルコールクがいるなんて」と、前回様に驚いていたヨーロッパや南アフリカの評議員の方たちとも、もっと深い話ができればと願っています。

行ってまいりま～す! WSM評議員 山本

JSO オフィス幹事会より

8月は例年どおりの夏休みだったので、9月、10月の会合についてご報告します。

1. JSOの運営機構である当幹事会の幹事は、自己叙任と個人的依頼によってその任に当たって来たが、選挙による選出に切り替える。この意向を第4回GSMに伝える。
2. BO 916の印刷費上昇のため、10年間、200円だった頒布価格を変更せざるを得ない。討論の結果やはりGSMに検討を依頼することとした。
3. JSO法人化の論議を積極的に進めていく。

編集部からのお願い

南北に細長い日本列島のこと、北で雪の便りを聞く同時期に、南ではサーフィンなどのマリンスポーツに興じる人達もいるという多様性は、AAの中にも多くあることと思います。ラウンドアップやイベント開催のニュース、メッセージを運ぶためのユニークな新企画、それにその成果などを是非とも私たちニューズレタースタッフまでお知らせください。

どうしても、関東中心になりがちな紙面を変革しようと、各地のオフィス特集、定期刊行物の特集などを組んで参りましたが、私たちだけで考えることではどうしても行き詰まってしまう。個人的な経験の分かち合いの場としてはBOX 916がありますが、このニューズレターを各地の活動経験の分かち合いの場として活用していただきたいと願っています。

スタッフ一同



左記、3種類のサービスマークを日本AAーアルコールクス・アノニマスは、商標法改正に備え、発行する文書に積極的に使っています。各グループでも、案内状、議事録等にAAの文書であることを明確にするため、積極的に使用下さることをお願い致します。